

541 味噌みそを付つける

失敗しつぱいする。失敗しつぱいして恥はをかく。

542 道草みちくさを食くう

物事ものごとの途とちゆう中で別べつのここをして、時じかんを取とられてしまう。

543 身みに余あまる

与あたえられた待たい遇ぐうが、自じぶん分の価か値ちゆうや能のうりよく力りよく、身み分ぶんや業ぎよつせ績せきなどを超こえていて、もつたいない。

544 身みに染しみる

①心の底そこから深ふかく感かんじられる。実じつ感かんすること。②(秋あき)の冷ひえ込こみなどが(強つよ)感かんじられる。

545 身みに付つける

①衣服いふくを着きる。品物しなものを体からだにつけて持もつ。②習ならった技ぎ術じゆつや能のう力りよくを覚おぼえ、実じつ際さいに使つかえるようになる。

546 身みにつまされる

他人たにんの不ふ幸こうや失しつぱい敗ばいに共きよう感かんし、切せつじつ実じつに感かんじる。

547 身みの毛けがよだつ

恐きようふ怖ふや気き味み悪わるさのあまり、ぞつとして毛けが逆さか立たつように感かんじる。

548 耳みみが痛いたい

他人たにんの言こと葉ばが自じ分ぶんの欠けつてん点てんや弱じやくてん点てんを指し摘としていて、聞きいていてつらい。

549 耳みみが早はやい

ニユースや噂うわさ話わを、他ほかの人ひとよりも早はやく知しっている。

550 耳みみ慣なれない

それまで聞きいたことのない、珍めずしい物もの事ごと。

551 耳みみに入いれる

①人ひとに情じゆう報ほうなどを伝つたえる。②情じゆう報ほうなどを聞きいて知しる。

552 耳みみにたこができる

同おなじここをいやになるほど何なん度ども聞きかされる。

553 耳みみに付つく

①ある音おとや声こゑが気きになり、忘わすれられなくなる。②音おとや声こゑなどがうるさい。

554 耳みみに挟はさむ

ちよつと聞きく。

555 耳みみを疑うたがう

予よ想そうもできなかつたここを聞きき、信しんじられない。聞きき間ま違ちがえたのではないかと疑うたがう。

556 耳みみを貸かす

相あ手ての話や相さう談だん事じを聞きいてあげる。

557 耳みみを傾かたむける

聞きき逃のがしなどのないように注ちゆう意いして聞きく。熱ねつ心しんに聴きく。

558 耳みみを澄すます

人ひとの話や音おとなどを聞きこうとして、神しん経けいを集しゆう中ちゆうする。

559 耳みみをそばだてる

神しん経けいを集しゆう中ちゆうさせ、聞きき取とろうとする。

560 耳みみを揃そろえる

お金かねや品物しなものを、必ひつ要ような分ぶんだけきつちりそろえて用よう意いしておく。